

韓国遠征に行つて

吉野 勉

ぼくたち日高市代表十五名は、韓国烏山市に向け、日高市と烏山市との友好都市スポーツ交流に全力で取りくんでもいりました。韓国の人たちは、とてもやさしく、言葉が通じない所は、大変でしたが、なんとか3日間烏山市の人々と仲良くやつていけました。サッカーの面では、日本とはちがつて韓国は、芝なので土とはちがつてもやりやすかったです。烏山市の人たちは、サッカーがとても上手で、日本よりレベルがたかいと思えました。テクニクやスピード、ボールのしより、トラップ、シュート、ドリブル、ロングボール、なにもかすが、うまかったです。烏山市では、2試合行いました。1勝1敗で終えることができました。ぼくは、烏山市の人たちと大人になつてもサッカーをつづけよう。とちかいました。おみやげもいっぱいもらいました。

ぼくは、また烏山市の人たちとサッカーをしにここに来たいです。

韓国の人との思い出

宮下 壘

ぼくは、友好都市スポーツ交流事業で韓国に行つてきました。

とても心に残つた事は、ホームステイ先で過ごしたことです。

ぼくは、ホン ウンジン君の家に泊まりました。ウンジン君は、お父さん、お母さん、兄、妹の五大家族でした。初日は、言葉もなかなか通じなくて、「本当に大丈夫かな。」と思つていたけれども、二日目からは、ちょっとした英語やジェスチャー、韓国語の本などを使つて、話すことができ、いっしょにあそぶこともできました。その日の夜は、とても楽しかったです。

また、試合では韓国の人たちのプレーに感動しました。ボールへの体のよせ方、正確なパスなどは、とてもすごかったです。そしてずっと声を出しつづけていることです。ぼくも韓国の人たちのようなサッカーをやりたいと思つています。とてもいい経験になりました。そしていろいろと、お世話になつた方々に感謝しています。

韓国に行つて

黒沼 大樹

ぼくは、韓国に行つて3つのことをしました。1つはサッカーの試合です。試合は、1日目の夜に1回、2日目の昼に1回しました。1試合目は、夜にやつたのでとてもさむかったです。その試合では、一〇でまけてしまつたけど夜に試合をするのは、初めてだったので、とてもいい経験になつてよかったです。

2試合目は昼にやつたのでさむくなくとてもやりやすかったです。2つ目にやつたことは、ホームステイでした。ぼくは、日本人の家にも泊まったことがなかったので、言葉が通じなくて、とても大変でした。でもホームステイ先の人やさしく、わかりやすいジェスチャーで接してくれたのでぼくは、気持ちよくとまる事ができました。3つ目はエバーランドという遊園地です。エバーランドはぼくのながてなぜつきょう系の物がたくさんありました。ぼくは、こわかつたので2つしかのれませんでした。韓国での3日間はとても楽しかつたので韓国に行つてよかつたなあとおもいました。

行ってきました韓国 朝倉孝之輔

ぼくは、日高市の代表として、韓国に行きました。韓国は日本とちがって一軒家が少なく、マンションが多かったです。ホームステイ先の家族は、ジェスチャーなどで話しかけてくれたので安心して過ごせました。

サッカーは、コートが変だなあとと思ったら大人用のコートでした。広くて走りっぱなしだったけど1勝できて良かった。ただ、何度か得点のチャンスがあったのに入れる事ができなかったのは残念でした。相手チームは、サイドからの攻げきで、パス回しが上手でした。

ぼくは、飛行機も両替えもホームステイもナイターでサッカーをしたのも全部初めての経験でした。これは、かんとくやコーチ、関係者のおかげだとおもいます。また機会があれば行きたいです。カムサハムニダ

「スポーツ交流事業に参加して」

大野浩輝

僕がこのスポーツ交流事業に参加して勉強になったのは韓国のチームのレベルの高さです。烏山市の中で最もサッカーに力を入れている学校だけあって、合宿所があり、校庭が広く、サッカーをするのにとっても良い環境で素晴らしいと思いました。

日本を離れるとき、言葉は通じるのかなとか、韓国の子と仲良くなれるかなと心配していましたが、初日の初めてあった合宿所で遊んだときには、すっかりうちとけていました。僕がこの交流事業を通じて強く感じたことは、たとえ言葉は通じなくとも心は通じるということです。

この素晴らしい体験を今後の生活に生かしていきたいです。

ありがとうございました。

韓国に行った思い出 岩瀬 篤史

ぼくは、日高選抜に選ばれて十一月三日から三日間韓国の烏山市に行ってきました。

韓国で一番楽しかった事は、ホームステイ先で遊んだ事と「エバーランド」に行っただことです。ホームステイ先はチョン・ゴンヨン君の家に泊まりました。家では、相手のこまをはじき飛ばすゲームを家族全員でやりました。夜は、韓国のデパートに行き、ゴンヨン君のお母さんにおみやげをいっぱい買ってもらいました。とてもうれしかったです。

「エバーランド」には、絶叫マシンがいっぱいあってみんな乗ってしまいました。

サッカーの試合は、一試合目はナイターでやり一対〇で負け。二試合目は昼間にやって、一対〇で勝ちました。ナイターと人工芝は初めての経験だったので楽しかったです。

あつという間の三日間だったけどとても楽しく、ぼくにとっては、一生の思い出になりました。

韓国遠征

高麗川小学校第六学年 正木 元

ぼくは韓国の烏山市へ行きました

初めて乗った飛行機は、少し緊張しました。韓国についてからの第一印象は、寒く都会のようにマンションが建っていました。最初に、烏山市役所へ挨拶をしに行き、烏山市の学校、合宿所を見学に行きました。韓国の人は学校が終わった後、家へ帰らずに、合宿所へそのまま行くようです。その合宿所で初めて韓国の人と会話したり遊んだりしました。初めてだったけどすぐに仲良くなれました。その夜の8時から試合をしました。人工芝のきれいなピッチでした。この様な所で試合ができるなんて「幸せだなー。」と思いました。あつという間に三日がすぎ、お別れの時になりました。さびしかったけど、笑顔で手をふってお別れしました。言葉が通じなくても、心が通じていると思いました。

この経験をまたどこかで生かせたら良いと思います。また、いつか韓国へ行きたいです。

びっくりがいっぱいあった韓国

柴崎 諒

ぼくは、三年生のサッカーのときから、大野君たちと、韓国にいけるといいなあと思っていました。そして、五年生になって、二人の選抜にえらばれました。とてもうれしかったです。六年のサッカーの始めに、二十二人で合宿にいった十五人にしぼったときは、とてもきんちょうしました。でも選ばれてよかったです。

それで、韓国にいきました。飛こつ機ははじめてだったけど、ジェットコースターみたいでももしろかったです。韓国で三日間すごして、びっくりが、4つあります。一つ目はホームステイにいくときに、信号を赤なのに無ししたことです。2つ目は、ホームステイで、日本語であいさつをしていたことです。3つめは、みんなが学校にとまって、生活しているということ。これは一番びっくりしました。4つ目は、ビルばかりで1件家がなかったことです。韓国は、とてもたのしかったです。

韓国烏山市に行つて

武蔵台小六年 吉池 直人

ぼくは、韓国へ行く前はとてもきんちょうしていました。なぜかという、飛行機に乗る事、異国の地に行く事、言葉が通じるかという事など、初めて体験する事ばかりで心配が頭の中を駆けめぐっていました。

韓国に着き、烏山市に向つバスの中から試合をする会場が見えました。こんな大きなグランドで試合ができるんだと感激し、城湖学校との試合が楽しみでした。試合は、1勝1敗でした。相手のチームはとてもテクニクがあるし、アプローチが早いのでパスがなかなか通らなかつたです。けどいい試合が出来て良かったです。他にも、ホームステイや韓国の観光をさせてもらい、文化の似ている所やマナーの違いなど、勉強させてもらいました。貴重な体験をさせてもらい、ありがとうございました。この事は絶対に忘れません。

日韓交流に参加して

高萩北アンタレス 大野達也

ぼくが韓国に行く前、一番心配だったことは、言葉が通じるかどうかということでした。初めは、何を言っているのかがまったく分からなかったけれど、ホームステイ先のウジン君の家族の人たちが、とてもやさしくしてくれたので、次の日からは、家に行くのが楽しみになりました。帰りには、ハングル語を少し使えるようになりました。一日目の試合では、初めての人工芝、初めてのナイターで思うようなプレーができず、負けてしまいました。けれど、二日目は、芝の様子も分かってくるので、韓国の選手の速い動きにも対応できて、一〇で勝つことができました。言葉は通じなくても、サッカーをしているときは、韓国の選手と、同じ気持ちで戦えたと思います。ホームステイと交流試合を通じて、韓国の文化や生活などがよく分かり、友達もたくさんできました。なので、またいつかウジン君や、たくさんの友達に会いたいです。

カムサハムニダ（ありがとう）

韓国訪問を終えて

西 亮介

この訪問を終えて、ぼくが一番印象に残ったのは何と言っても韓国でのホームステイです。友達の家には泊まる事はあるけれど、発音でしか言葉の通じない所で3日も過ごすなんてぼくにとってはとても緊張する体験です。たまたまホームステイ先のお父さんが日本語を話す方だったので、ちよっぴりホッとしました。でも、韓国の子たちとは、勉強した韓国語と身ぶり手ぶりで、3日目にはお互い名前呼び合うくらい仲良くなれてとてもうれしかったです。

サッカーの試合は一勝一敗という結果でしたが一勝出来て良かったです。

また、この韓国訪問で、もう一つうれしい体験をしました。韓国へ行く前日、クラスの皆がぼくらのために壮行会をしてくれて、とても暖かく送り出してくれたのです。ぼくは「友達っていいなあ。」と思いました。

韓国に行つて

菊池 龍巻

一番困ったことは言葉です。何を言っているのかよく分からなかったけど、ジェスチャーを使って話すうちに少しずつ分かるようになりまし。言葉は通じなくても、分かるように努力すると心は通じるんだなと思いました。

韓国のおうちは、部屋がとても暖かかったです。家の中のどこを歩いても床が暖かく、うちもそうだと良いなと思いました。

サッカーの試合でもとてもよい経験ができました。ナイターでやるのも、人工芝のグラウンドでやるのも初めてでした。ぼくは9月頃からヒザをいためていて病院に通っていたけど、試合に出ることができてよかったです。

一勝することができたのも、みんなで仲良く一生けん命練習してきたからだと思います。

この経験をいかして、これからも楽しくサッカーができるようにがんばっていききたいと思います。

「韓国」

小峯 正明

ぼくは、日高の六校のなかで十五人だけ選ばれるとき、ぼくは、えらばれてうれしかったけれど、選ばれなかった七人のことをおもうとちよつとつらかったです。

ほんとうは、二十二人全員でいきたかったけど、それはしょうがないとおもっていました。だから、いけなかった7人に韓国のことをいろいろおしえてあげたいとおもいました。

試合は、ナイターのときは、まけてしまったけどつぎの日に勝てたのがうれしかったです。二試合目は、みんなの気持ちが一つになったからかてんだとおもいます。ホームステイでは韓国の方にいろいろお世話になりました。いろいろおみやげをいただいたし、朝ご飯なども作っていただいて、とてもやさしくしていただいて本当に韓国の方々はやさしいんだと実感しました。烏山市の方には、本当に感謝しているし烏山市の市長さんお世話になりました。

烏山市とのスポーツ交流を終えて

長谷川 慎吾

僕は、少年サッカー日高市の代表選手として、十一月三日から五日まで韓国の烏山市という所へ行つて来ました。この二泊三日ファン・ジソク君の家庭にホームステイだったので言葉が通じるかとても不安でしたが、同じアジア人で、すぐとなりの国なので、ジェスチャーなどで、なんとなく、心が通じあえ、家族の人たち皆、やさしくしてくれたので、楽しく過ごせました。

烏山市に着いて感じた事は、とにかく高層マンションが多く、車の多さ、スピードにとってもびつくりしました。韓国人はせっかちなのかなーと思いました。

親善試合は、ナイターと昼間の二試合で一勝一敗でした。

韓国の子たちは、パス回しが上手で声もよく出ていてさすがだなと思いました。僕たちも見習う事がいっぱいありました。

たった三日間でしたが、サッカーだけではなく、韓国の言葉や生活、文化についてもすごく勉強になり、とてもよい経験ができました。

第五回友好都市スポーツ交流に参加して

小久保 翔

僕は、小さい頃からサッカーが大好きで、二年生からスポ少に入り今まで頑張ってきました。僕が六年生になった年には、スポーツ交流で韓国へ行けることを知りました。今回高麗の代表として、僕が選ばれたことすごく嬉しかったです。

僕と同じに頑張ってきたチームメイトの分まで韓国で頑張ってきました。おたがいのチームが対一で試合は終わり、僕はとてもよかったですと思っています。言葉は、あまり通じなかったけれど、心は、通じたこととてもうれしく思いました。ホームステイ先の家族の人達は、とてもしんせつで、とてもよくしていただきました。外国でサッカーができた事すごくほこりに思っています。今回の韓国行きで僕の夢が一つかなくなりました。これから先もサッカーをつづけていき、いつかは、サッカー選手になることが僕の大きな夢です。